

# 【全国運動の基本】子どもと高齢者の交通事故防止

熊本県の最重点課題

## 高齢者の交通事故防止

- 横断は、まず止まり、左右をよく見て渡りましょう
- 速度は控えめに、思いやりのある運転に努めましょう

高齢者自身の交通安全意識の高揚と、高齢者に対する保護意識の醸成を図るために、交通安全推進連盟では次の項目を推進します。

- 広報啓発活動等を通じた高齢者自身による身体機能の変化の的確な認識に基づく安全行動の促進
- 街頭での交通安全指導、保護・誘導活動の徹底
- 70歳以上の運転者に対する高齢運転者標識（高齢者マーク）の使用促進と、高齢者マークを表示している自動車に対する保護義務の周知徹底
- 高齢者に対する思いやりのある運転の促進
- 参加・体験・実践型の交通安全教育等の推進による交通ルール・マナーの理解向上と安全行動の促進
- 明るい服装と反射材の着用の促進
- 交通事故に遭う危険性の高い高齢者に対する危険度に応じた交通安全教育の促進



高齢運転者標識

## 子どもの交通事故防止

運転者は

幼児、児童の歩行者等を見かけたら、徐行するなど特に思いやりのある運転に心がけましょう。

家庭・学校・地域では

- 子どもに安全な歩き方、横断の方法、自転車の乗り方など基本的な交通ルールについて具体的に指導しましょう。
- 通園・通学時間帯の交通安全指導、子どもの見守り活動を推進しましょう。



職場では

- 安全運転管理者等を中心に、思いやり運転の定着化に向けた交通安全教育を推進しましょう。
- 前照灯の早め点灯や反射材の活用を推進しましょう。

関係機関・団体では

それぞれの特性を活かして、地域住民が参加しやすい交通安全教育等の諸活動を推進しましょう。



### 第9次熊本県交通安全計画が作成されました！

平成23年6月8日、熊本県交通安全対策会議において、「第9次熊本県交通安全計画（平成23年度から平成27年度）」が作成されました。県民及び関係機関・団体等で連携し更なる交通事故の抑止に努めましょう。（同計画の対策の重点は下記のとおりです。）

- ① 高齢者の交通安全の確保
- ② 自転車の安全利用の推進
- ③ シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶



全国運動の  
重点1

## 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）

運転者は

2人乗りや傘差し、携帯電話使用、無灯火、イヤホン等使用運転などの危険な運転をせず、交通ルールとマナーを守りましょう。

家庭・学校・地域では

- 夕暮れ時や夜間外出時には、明るい服装や反射材の着用を心がけましょう。
- 「自転車安全利用五則」に則った教育・指導を実施しましょう。



職場では

- 自転車利用者に対し、正しい交通ルールとマナーを実践させる交通安全教育を推進しましょう。
- 前照灯の早め点灯や反射材の活用を推進しましょう。

関係機関・団体では

- 自転車安全利用五則の周知、浸透を図りましょう。
- 自転車事故に対する保険制度の普及に努めましょう。

全国運動の  
重点2

## 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

運転者は

発進前のシートベルト及びチャイルドシートの全席着用確認及び着用後の発進を実践しましょう。

家庭・学校・地域では

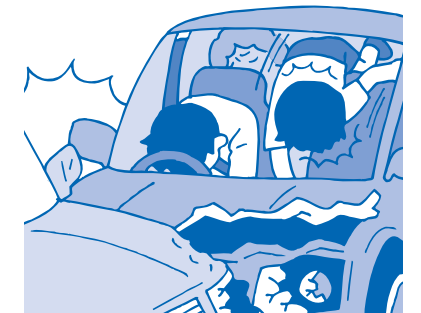
シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を習慣づけましょう。

職場では

朝礼や点呼などにおいて、全ての座席のシートベルト着用を徹底しましょう。

関係機関・団体では

各種キャンペーンや交通安全教育等を通じて、全ての座席においてシートベルトやチャイルドシートを着用しなければならないことを周知徹底しましょう。



全国運動の  
重点3

## 飲酒運転の根絶

運転者は

飲酒運転の悪質性・危険性、交通事故の悲惨さを認識し、飲酒運転をしないことを厳守しましょう。

家庭・学校・地域では

飲酒が運転に及ぼす影響や危険性について話し合い「飲酒運転を許さない」環境を作りましょう。

職場では

アルコール検知器の活用や、二日酔いを含めた運転者の体調確認など、飲酒運転をさせない管理を徹底しましょう。

関係機関・団体では

各種広報媒体を活用して、飲酒運転の悪質性・危険性等について広報啓発活動を展開しましょう。

